



先生はお母さん

心
あ
っ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

TV東京の深夜に放送されていたワカトシの涙が止まらナイト」からのエピソード。Heartより

5年生の担任になった時、クラスの中に1人だけ好きになれない生徒がいました。遅刻をしたり、声をかけても返事もしない。そんな少年をいつからか毛嫌いするようになってしまったのです。

しかし、あることをきっかけにその思いは変わっていききました。それは、少年が1年生からの中間記録を見た時のこと。家族が大好きで、家では率先して家事を手伝い、友達にも優しく元気だった時があったと知ること。今の少年とはまるで別人のような記録でした。そして読み進めていくうちに、少年の身に起きた出来事を知るのした。

2年生の頃から、母親の体調が悪くなり看病のため遅刻をしたり、看病に疲れ授業中に居眠りをするようになった。3年生の時、母親が亡くなる。そして4年生の頃から父親がアルコール依存症に陥り暴力をふるうように。先生は、心の闇を抱えていた少年の辛さに気付いてあげられず、ダメだと

決めつけ毛嫌いしていた事を後悔しました。それから、授業が終わった後、夕方まで一緒に予習復習をする毎日が始まりました。

明るい先生の対応が、少年の心までも明るくしていったのです。遅れ気味だった勉強も、次第に追いつくようになり、授業中に発言できるま

少年が進級すると担任が変わり、少年との接点がなくなってしまう。しかし、その後、少年から幾度と手紙が届くようになったのです。

先生へ先生はぼくのお母さんのようです。そして、今まで出会ったなかで一番すばらしい先生でした。」

それから6年後2通目のカードが届きます。先生へ 明日は高校の卒業式です。僕は5年生で先生に担当してもらってとても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することが出来ます。」

10年後のカードには

先生、僕は念願かなって、医者になることが出来ました。激務におられる毎日ですが、命を救うという医者の仕事にやりがいを感じています。僕は鈴木先生に出会えたことにとっても感謝しています。父親に暴力を受け、心傷ついた僕にやさしく、そして時には厳しく接してくれたのは鈴木先生だけでした。本当にありがとうございました。父親に叩かれた体験があったからこそ、感謝と痛みが分かる医者になれる。それは少年が自ら経験した辛い過去が

導いた未来だったので

す。そして1年後、最後の手紙が届きます。

それは結婚式の招待状でした。そこには「母親の席に座ってください」の文字がありました。

編集後記

ただ苦手な生徒で終わらなかつた先生が素晴らしいですね。その生徒のことを知ろうという気持ちになかつたら、中間記録を見てもおかしいと感じることもなかつただろうと思います。

。気づいたあとの先生の対応も素晴らしいと思います。少年がいつまでも、感謝の気持ちを持ち続けたことも感動します。本気で接すれば、相手はしっかりと応えてくれる。心がかよふことはすごい力だと思います。